



## 訓練は本番 本番は訓練

校長 小菅 みちる

新しい年を迎えました。今年もよろしく願いいたします。

元日、石川県能登地方を震源とする地震で多くの方が被害に遭われました。被災された方々、また、関係の方々に心よりお見舞い申し上げます。こうしている今も余震が続き、避難生活を余儀なくされています。早く収まってほしいと祈るばかりです。1月2日には羽田空港滑走路上で航空機事故がありました。こちらも新年早々、本当に心が痛む悲しい事故でした。

この二つの災害や事故のニュースを耳にするたびに頭に浮かんでくるのは、「日々の訓練の大切さ」です。学校では月に1回避難訓練を実施していますが、実際に災害や事故に遭遇した時に、訓練どおりに実施できるだろうか？と改めて考えてしまいました。私たち教職員は、現在の学校防災教育について、いま一度見つめ直し、より実践的なことを意識して指導していく必要があることを強く感じました。同時に、石川台中学校が防災活動拠点校として、地域と共にこれからどのようにあるべきなのか、さらに具体的に考えていく必要があると思いました。

先日、私がかつて石川台中で教えた生徒たちと会う機会がありました。みんな27歳になったと言っていました。会社員、学童保育勤務、電車の運転士、大学院に行っている人など様々でした。わいわいやっているうちに、東日本大震災のときの話になりました。当時、彼らは中学2年生。私は2年B組の担任でした。石中の2Bの教室で、学活の時間でした。

「あのとき、泣いてる人多かったよな」「小菅先生も涙声じゃなかった？」「お前、あのとき笑ってただろ。なんで笑ってたの？」「いや、まじ、みんな泣いてるからさ、明るくするのに笑ったほうがいいかと思って」「そうだったのか。初めて知った」「机の下もぐりながら、足震えた。めっちゃ怖かったよな」「校舎くずれるかと思った」そんな会話を耳にしながら、当時のことを生々しく思い出すとともに、あれから13年近くを経ていまこうして元気に笑い合っていることがむしろ奇跡なのかもしれないと思いました。

今回の羽田空港の事故では、JALのスタッフたちの避難誘導がたたえられています。これはやはり訓練の賜物なのでしょう。事故や災害は起きないのが一番ですが、万が一のときは、やはり、訓練がものを言うのだと実感させられる出来事です。また、その近くにいたANAのスタッフも協力していたということの後から知り、事故や災害時の協力体制の大切さも感じました。

「訓練は本番。本番は訓練。」これは、避難訓練の際、私がよく使う言葉です。「訓練は本当に災害や事故に遭ったつもりで真剣に本気でやりましょう。もしも本当に災害や事故に遭ってしまったときには、訓練のときのように落ち着いて行動しましょう」という意味で使っています。生徒のみなさんには、この言葉をしっかりと覚えてほしいと思います。またこの言葉は、日常生活にもつながっていると言えるでしょう。これから待ち受けている3年生の入試などにも関連しています。試験や面接は、日々の努力こそが大切。毎日の訓練（学習・練習）は真剣に、本気で取り組みましょう！本番は訓練のときのように落ち着いて力をしっかり発揮しましょう！3年生のみなさん、残された中学校生活はあとわずかです。一日一日を、真剣に、本気で臨んでください。応援しています。

**【学校だより 1月号 保護者感想など】**

何人かの保護者の方からコメント等いただきました。ありがとうございました！！

○冬至の日は毎年ゆず湯に入りますが、願掛け・語呂合わせ・長年の苦労が実を結ぶ等の説は初めて耳にしました。今年のゆず湯は、これまでとまた違った思いと共につかることができそうです。

○確かに「振り返り」と言えば悪い点を見つける為にすることだと思ってました。これからは良かった点もまず見つけようと思います。

○〇組の保護者です。連合球技大会、力強い応援旗を制作して下さり、また、練習試合にも参加して下さり、本当にありがとうございました。みなさんの応援が力となって、当日素晴らしい成績を収めることができました。

→【学校より】そう言っていただけると嬉しいです。このコメントを読んで、生徒たちもきっと喜んでいることと思います。ありがとうございました。

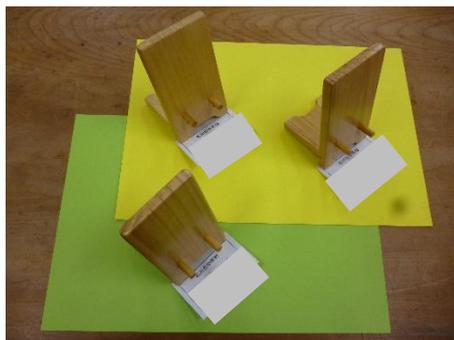
## ものづくり教育・学習フォーラム作品展に 技術・家庭科の優秀作品が出品されます

1月13日（土）大田区産業プラザ Pio にて「第22回ものづくり教育・学習フォーラム」が開催されます。大田区のものづくり教育を区民の皆様を紹介していく取組が行われ、そこでは技能コンテスト、舞台発表、体験コーナー、作品展示が催されます。

石川台中からは作品展示の部に6名の技術・家庭科の優秀作品が出品されます。午前9時～午後3時までどなたでもご覧いただけますので、どうぞよろしくお願ひします。

技術科作品 「スマホスタンド」 1年 3名

家庭科作品 「パンケース」 2年 3名



.....きりとり.....

学校だより 1月号

感想などありましたらお書きください。お名前を伏せて掲載させていただくことができます。

年 組 生徒氏名

# 臨時のセーフティ教室を開催しました

1月10日（水）の5校時、本校体育館にて臨時のセーフティ教室を開催しました。田園調布警察の方を講師にお招きし、中学生が心配される万引きや窃盗などの非行防止、SNSトラブルなどについての講話を聞き、DVDの映像を見て、ロールプレイを行いました。

ロールプレイでは3人の生徒が代表で事件に巻き込まれた時の対応について実演してもらいました。3人とも犯罪につながる怪しい誘いに毅然と断ることができていました。その様子を全校生徒が共有し、自分ならばどうするか考えてくれていたと思います。

これからの皆さんの石中の生活が安心して送れるように、今後みなさんの大切なものがなくなり心を痛めることのないように、教職員もちろんですが、全校生徒で協力していきたいと思います。石中は皆さんにとって楽しく前向きに活動できる場であり、皆さんを成長させてくれる場であることを心にとどめていきましょう。保護者の皆様もご協力誠にありがとうございました。

## 笑顔と学びの体験活動プロジェクト

### 全校生徒で謎解き脱出ゲームを楽しみました！！

1月11日（木）の5・6校時、本校体育館にて笑顔と学びの体験活動プロジェクトを実施し、全校生徒で謎解き脱出ゲーム「本能寺からの脱出」を楽しみました。石中は全校生徒学年縦割りグループで話し合い活動をし、協力して問題の解決を試みるプロジェクトを行いました。始めにアイスブレイク（緊張をほぐす活動）で自己紹介などをし、その後スタッフの方々が織田信長や蘭丸や忍者等に扮して登場し、生徒の皆さんはグループで炎に囲まれてしまう本能寺からの脱出口を探す謎解きに挑戦しました。最初は固くなっていたグループの中でしたが、次第に知恵を絞りあって和気あいあいと力を合わせ問題に取り組んでいました。最も早く脱出に成功した1位のグループを舞台上で讃えました。そして全校生徒で記念撮影を行いました。最後に生徒会長からお礼の言葉があり、全員でスタッフの皆様にお礼の気持ちを伝えました。全校縦割りで一堂に楽しむ貴重な機会になりました。普段話したことのない学年を超えた石中生の良いつながりにもなり、アットホームな石中ならではの活動だったと思います。この縦割りの活動は今後も形を工夫しながら継続していきたいと考えています。



## ◎表彰の記録◎

◆令和5年度大田区立小・中学校 人権啓発作品展 12/8

奨励賞 ポスターの部

「あなたの心が晴れることを願って」



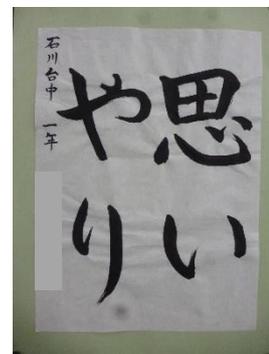
「ありのままに生きられる世界」



奨励賞 標語の部

「みな違う。人の痛みをわかる人間になれ。」  
「勇気こそ 心が人を つなげる輪」

奨励賞 習字の部



◆令和5年度中学生の税についての作文 12/11

雪谷納税貯蓄組合連合会長賞  
雪谷納税貯蓄組合連合会 優秀賞

◆吹奏楽部 令和5年度大田区中学校アンサンブル発表会 1/6

管楽七重奏 「三日月のシャンソン」

管打楽器八重奏 「森の勇者たち」

